



メルボルン日本人学校 2013年 年間報告

6 Ellington Street, Caulfield South
VICTORIA 3162

T (03) 9528 1978
F (03) 9528 6150

melko@jvm.vic.edu.au
<http://www.jvm.vic.edu.au/index.html>

I. 校長挨拶

今年で29年目を迎えるメルボルン日本人学校の前身は、昭和47年9月に創立されたメルボルン補習校でした。昭和61年5月に現在の場所（6 Ellington Street, Caulfield South）で、児童・生徒数96名でメルボルン日本人学校としてスタートしました。平成2年頃には子どもたちの人数がプレップ（幼稚園部）を含めると150名を超えることもありました。現在はプレップ5名、小学部44名、中学部19名、合計68名の子どもたちが元気に楽しく学習を進めております。設立母体でありますメルボルン商工会議所、学校運営理事会や保護者会の皆さまをはじめとして、オーストラリア政府・ビクトリア州政府・日本国政府・海外子女教育振興財団などの多くの方々に支えられて今日を迎えるに至っております。

本校では従来から、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りをもって、世界に羽ばたく人材の育成をめざした学習活動の実践と、日本の学習指導要領に基づく教育課程の編成を行い、「確かな学力」をさらに「質の高い日本の教育」へ、また、オーストラリアの地の利を生かした活動により「豊かな心」の育成に努めています。

平成21年度からは、コミュニケーション能力の向上と英語教育（ESL）に力を入れていきます。英語力の向上はもちろん、「全教科を通じて話し合い活動を充実させ、コミュニケーション能力を高めていこう」と教職員一同、気持ちを一つにして取り組んでいます。その一環として、少人数の利点を生かしながら、自由に自分の意見を言える雰囲気づくりと、友達の意見を聞いて自らの考えを高めていく場を常に設定する授業づくりを工夫していきます。また、指導力のあるESL（第2外国語としての英語）教員を増員して「英語が使える日本人の育成」にも力を入れていきます。さらに、現地校との交流の回数も増やし、交流学习の充実を図っています。その結果、英語の力が飛躍的に向上しています。

少人数学級編制による、きめの細かい行き届いた心配りのできる環境で、「質の高い日本の教育」を目標にして、文部科学省より全国から選抜された、卓越した力量をもつ経験豊かな教職員が日々努力を積み重ね、教育活動に邁進しています。その結果、25年度に中学部を卒業した生徒2名は、昨年度に引き続き、日本及び現地の第一希望の高等学校に進学することができました。入学できたのも、「質の高い日本の教育」を実践し、きめ細やかな個別指導を徹底した結果であると自負しております。

また、21年度に、ビクトリア教育省より、「特別学校」として認可され、カリキュラムについては、オーストラリアの教育内容に合わせることなく、日本のカリキュラムに沿って授業することが認められました。ナプランの試験は、子どもたちの英語力を確かめるために行っておりますが、教えている内容が他の学校と異なりますので、結果は比較の対象にはならないものと考えております。

II. 本校の教育目標

本校は、メルボルン周辺に在住する日本人子女及び、今後日本において日本の教育を受ける予定のある者に対して、オーストラリアの現地校としての枠組みの中で、日本国憲法・教育基本法・学校教育法の基本概念をしっかりと把握し学習指導要領に準じた本校の教育計画・教育活動を実践していくものとする。

日本人としての自覚を持って国際社会を生きていくこころ豊かな子どもの育成
～質の高い日本の教育を通して「自学自治」をめざす～

<学校経営方針> 誠意と情熱をもって、子どもたちとともに夢と可能性に挑戦し、感動を生み出す学校づくり

＜重点課題＞

- ①生きる力としての学力の向上……進んで学ぶ子
【わかった・できた・やってよかった】という授業の充実をメル校の文化に
（かけがえのない命）
- ②温かい人間関係づくりと自治的な実践力の向上……思いやりのある子
【人権尊重(命の教育)】をメル校の校風に
（支えあう命）
- ③目標を持ち、集中して取り組む生活姿勢づくり……強い意志でやり抜く子
【志高く・ねばり強く・ひたむき】な生き方をメル校の伝統に
（かがやく命）

＜教育目標設定理由・根拠または理由＞

本校はメルボルン市内中心地から車で40分くらい離れた静寂な住宅地におよそ85年前カトリック系プライマリースクールとして設置された学校(ホーリークロス・プライマリースクール)を、30年前に当時の日本人学校理事運営委員会が譲渡してもらい、今日のメルボルン日本人学校を設立した。学校は自然環境の豊かな地域に立地し、グレンアイラ市民の憩いの公園(プリンセスパーク)のすぐ前に位置している。保護者や地域の住民の方の学校に対する関心も高く、日本人学校への期待も大きい。地域に開かれた学校をめざす中、メル校デーなどの学校行事には多くの方が見学に来られる。

本校は、「現地理解教育の推進」というテーマのもと各学年で小テーマを設定して、子どもたちが自らの課題をもち、自分で解決する力・社会に目を向け生活する力を伸ばすことと共に、人としてのやさしさと忍耐力や寛容のこころを培い、国際人として世界にはばたく人材の育成をはかりたいと考え、教育目標を設定した。

〔課題〕

- ・ 地域に開かれた学校づくりの在り方を求めた教育活動の推進等
- ・ 教員の資質の更なる向上をめざした教育・研修の在り方の工夫
- ・ さまざまな体験的活動における活動場所の開拓と英語教育の推進
- ・ 少人数学級における個を大切に、一歩すすんだわかる授業の工夫と実践
- ・ 日本の英語熱の煽りを受け、英語圏における世界的な日本人学校離れが進む中での児童・生徒数の継続的な確保をはかる
- ・ 海外において、外での運動や遊ぶ機会に恵まれない環境を踏まえ、体育・体育的活動にも力を入れ逞しい体と情緒ゆたかなこころを育む

＜実践の重点＞

教科指導＝「確かな学力」を身に付けさせる

- ・ねらいと出口の姿を明確にした単元指導計画と指導案を作成する。
- ・ねらいにせまるために、教材や教具、学習活動のさせ方、発問等を工夫する。
- ・学習規律、学習集団、学習習慣をつくる指導を学年に応じて段階的に進める。

道徳教育＝自己を見つめる力と他を思いやる心を育てる

- ・行事や活動で育てたい道徳性を明確にし、道徳の時間と関連付けた指導をする。
- ・あいさつ、時間、言葉遣いを大切に、他者を思いやる心を醸成する
- ・ねらいとする価値を明確にし、願う児童生徒の様相を具体化して道徳の時間の指導をする。

外国語教育＝言語環境を活かし高いコミュニケーション能力を身につけさせる

- ・小学部高学年における英語では、中学校英語の導入として配慮し、指導を図る。
- ・中学校英語は学習指導要領の内容を指導するとともに、言語環境を活かし発展的内容の指導を図る。

- ・学校の特長を生かし小学部・中学部全学年において、ESL 教員による指導を図る
- ・5・6年生の外国語活動(英語)と関連して総合的な学習の時間として指導する。
- ・現地校との交流学習を通して、コミュニケーション能力の向上と国際的な視野を広げる。

総合的な学習の時間＝探究的な学習を通して、よりよく問題を解決する力を育てる

- ・小中学校のつながりを踏まえ、各教科等との関連を明確にして、課題意識が連続する指導計画を工夫する。
- ・海外の特性を活かした体験活動と言語活動を意図的・計画的に設定し、探究的な学習を行う。

特別活動＝「認め合い・高め合う集団」と「よりよい生活をつくり出す力」を育てる

- ・自治的・自発的な活動の運営の仕方や仲間との関わり合い方を段階的に指導する。
- ・学級目標に示す、育てたい集団の姿を明確にし、年間を通して意図的・計画的に学級経営をする。
- ・「生活見つめ→問題見つけ→解決方法の具体化→生活化」の過程を重視した学級活動を行う。

情報教育＝発達段階に応じて、情報化社会における知識や活用能力を育てる

- ・情報化機器に対する検索・収集・選択・発表・発信など活用能力を育てる。
- ・情報機器に潜む危機管理意識を育て、正しい情報管理と活用についての知識を養う

進路指導＝自己の生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる

- ・小中学校の連携を図り、児童生徒の発達段階に応じた指導計画を工夫する。
- ・望ましい勤労観・職業観を育てる体験活動を工夫するとともに事前事後の指導を大切にする。
- ・一人一人が自分のよさを自覚し、夢や希望をもって主体的な進路選択ができるような情報提供や学習の工夫をする。

生徒指導＝共感的な理解に徹し、自己指導能力を育てる

- ・規範、マナー、情報モラル等について、一貫した姿勢と体制で指導する。
- ・生命と人権を大切にする観点から、常に児童生徒の姿や心の変化をとらえるとともに、教育相談などを意図的に実施する。
- ・オーストラリアのよさを学び、価値ある生き方ができるよう意味付け・価値付けの指導を徹底する。

健康安全教育＝運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

- ・児童生徒の生活や健康状態、安全意識等の実態と発達段階を踏まえた指導計画を工夫する。
- ・健康で安全な生活に関する具体的な指導内容を明確にし、各教科等の特質を生かした効果的な指導を行うとともに、個に応じた指導を工夫する。
- ・オーストラリアにおける健康、安全に関する研修を行うとともに、管理・指導を徹底し、事件・事故の未然防止に万全を期す。

特別支援教育＝一人一人の教育的ニーズに応じ、自立し社会参加するための基盤となる力を育てる

- ・特別支援教育担当を中心に全校職員で指導する体制をつくる。
- ・LD、ADHD 等の特性や支援のあり方、個に応じた指導についての校内研修を計画的に実施する。
- ・保護者との連携を密にし、一緒に育てる意識と支援体制をつくる。

人権同和教育＝人間尊重の気風がみなぎり誰もが大切にされる学校づくりを推進する

- ・常に人権感覚を磨き、誠意と情熱をもって児童生徒に接する。
- ・身に付けたい三つの力「認識力・自己啓発力・行動力」のどの力をつけるための指導なのかを明確にする。
- ・全教育活動を通して、人権同和教育を推進する。

Ⅲ.主な行事

年間の主な行事内容

① 始業式・入学式・着任式

4月15日には、側嶋総領事や上野理事長などの来賓を迎え、始業式・入学式を行った。プレップ・小学部・中学部53名で平成25年度がスタートした。

② ジャパンフェスティバル

5月19日の日曜日。ボックスヒルの会場で行われたジャパンフェスティバルに参加した。4月から一生懸命練習してきた「御神楽」を小学部の子どもたちが、中学部の生徒たちは「南中ソーラン」を舞台上で元気に披露した。子どもたちの真剣さと動きの揃った演技は、オーストラリア人にもメル校をアピールする大きな要素となった。

③ 児童生徒総会・1年生を迎える会

5月3日の児童生徒総会や5月1日の1年生を迎える会でも、子どもたちが主体的に取り組み、自分たちで会を運営している姿を見ることができた。

④ 小・中学部宿泊学習

5月22日から24日にかけて小（4～6年）・中学部の30名がフィリップ島に2泊3日で宿泊学習に出かけた。島にある美しい自然の中で、多くのアクティビティーに取り組み「自ら考え自ら動く、友達のために自分も頑張ろう」そんな姿を見ることができた。

⑤ メル校デー

9月8日の日曜日。メルボルン日本人学校にとって大きな行事の一つであるメル校デーが開催した。午前中は、全校児童生徒による「ミュージックフェスティバル」を催した。どの学年も素晴らしい歌や器楽合奏をもって終えることができた。

午後の「ワトルタイム」は、中学部はグループごとに、現地の方々に日本の国を理解してもらうために、日本の様々な地域の食文化をテーマとして発表をした。小学部は「習字」、「日本の古典的な遊び」「跳び箱、縄跳び」など、グループに分かれて日本の文化や遊びの楽しさをアピールした。

⑥ 運動会

10月27日。青空の下、絶好のコンディションの中でメルボルン日本人学校の第28回運動会が開催した。子どもたちは、競技や演技に「団結」のめあてに向けて自分の持っている力を存分に発揮していた。小学部の「花笠音頭」と「Victory」は、プレップから小学部6年生までが楽しく身体を動かし、一体となって美しく演じることができた。

中学部の「南中ソーラン」は、見るたびに力強く逞しくなっているように感じた。さらに「創作ダンス」では、楽しい表現の中に日頃の体育で培った、技能や表現力が随所に盛り込まれ、見応えのあるダンスであった。

⑦ 中学部交流学習

10月11日には、中学部がウエズレーカレッジとの交流学習を行った。英語で日本の文化を紹介したりゲームの説明をしたりした。昼食時には、ごく自然に英語で会話する姿があちこちで見ることができた。

⑧小学部交流学習

11月15日と12月5日に、交流校であるグラモーガン校のお友達がメル校にやってきた。日本語の勉強をしているグラモーガン校の子どもたちと、英語の勉強をしているメル校の子どもたちが、お互いの国の言葉を上手に使いながら会話をしたりゲームをしたりしている姿は大変微笑ましいものを感じることができた。

⑨小学部遠足

12月5日には、小学部の1～3年生とプレップが遠足でストロベリーピッキングに出かけた。とても寒い日ではあったが、ストロベリーを採集し、満足して帰ってきた。3年生のリーダーとしての力がついたことや、低学年部がさらに交流を深めた行事となった。

⑩オープンクラス

1月14日から22日までのオープンクラスには14名の子どもたちが、メル校の子どもたちと一緒に学習に取り組んだ。7日間という短い期間ではあったが、大変充実した時を過ごすことができた。気温40度以上の熱波が4日間続き、2日間を午前授業で切り上げた。

⑪水泳学習

1月30日、2月6日、13日の3日間、WAVES LEISURE CENTREにおいて、水泳学習を実施した。ホップ・ステップ・ジャンプ・チャレンジの4グループで学習に取り組み、成果を上げた。児童生徒も、先生の指示をしっかりと聞き、着実にこの3日間で泳力が伸びた。

⑫生活科・社会科見学

1月23、24日、2月4日の3日間は、小学部3年生、プレップ・小学部1・2年生、小学部6年生の生活科や社会科見学を行った。小学部3年生はメルボルンミュージアム、6年生はビクトリア州議事堂を見学し、オーストラリアの政治や日本との関係を改めて考える良い機会となった。プレップ・1・2年生のメルボルン水族館の見学では、友達と仲良く、多くの海の生き物などを見学し、思い出に残る楽しい1日となった。

⑬授業参観・懇談会・保護者全体会

2月8日の土曜日に、授業参観・懇談会・保護者全体会を実施。小学部は学年ごとの発表や全体発表を行った。中学部は、英語・国語・数学の授業を実施。その後の保護者全体会において本年度の成果や来年度の教育計画について理解を図った。

⑭卒業証書授与式

3月13日に第28回の卒業証書授与式が行われました。小学部6名、中学部2名の児童生徒一人ひとり卒業証書を手渡した。メルボルン日本人学校で培った友情はずっと続くものと確信しました。卒業生には、「卒業証書」に隠されたキーワードの3つを話して、これからは社会に貢献できる生き方を心がけるように期待を込めて送り出した。

IV.教職員リスト（平成25年度）

職 種 別		氏 名	所有免許	性別	主任・担任・担当教科	所属	着任年次
校 長	派遣教員	美谷添 久 男	小中	男	総括	シニア	平成24年
教 諭	派遣教員	永 森 壘 子	小中	女	小4担任・教務主任	神奈川	平成24年
教 諭	派遣教員	田 中 寿 和	小中	男	小5担任・主幹	愛知	平成24年
教 諭	派遣教員	今 井 克 彦	中	男	中1担任・中学部主任・生徒指導	熊本	平成24年
教 諭	派遣教員	元 木 修 一	中	男	小1担任・小学部主任 FA	福島	平成24年
教 諭	派遣教員	吉 村 信 次	小中	男	中2.3担任・数学主任	福岡	平成23年
教 諭	派遣教員	伊 藤 仁	小中	男	小6担任・対外的行事担当	大阪	平成23年
教 諭	派遣教員	白 田 貴 彦	小中	男	小3担任・体育主任	宮城	平成23年
教 諭	派遣教員	稲 垣 美 里	小中	女	小2担任・音楽主任	茨城	平成23年
教 諭	現地採用	藤 田 厚 子	英語	女	英語科主任・㊦56英語・㊦123英語 FA		平成19年
教 諭	現地採用	アンジェラ ニコラツツオ	ESL	女	㊦㊦ESL		平成24年
教 諭	現地採用	ロビン キャンフィールド	ESL	女	㊦㊦ESL		平成24年
教 諭	現地採用	渡 邊 あおい	小	女	プレップ FA		平成23年
事務長	現地採用	葛 西 秀 子		女	事務全般および渉外全般		昭和61年
事 務	現地採用	今 井 教 之		男	事務全般および渉外全般		平成24年
用 務	現地採用	ドナルド リム		男	営修繕全般		平成21年

2. 教職員取得免許状

免許状の種類	人 数
小学校免許状	5人
中学校免許状(国語)	1人
中学校免許状(社会)	2人
中学校免許状(数学)	1人
中学校免許状(理科)	1人
中学校免許状(英語)	2人
中学校免許状(体育)	2人
中学校免許状(技家)	1人
Graduate Diploma in Secondary Education (ESL/LOTE)	1人
Master of TESOL (ESL)	1人
Diploma of Education (ESL/English)	1人
Master of Arts (Applied Linguistics)	1人
Bachelor of Multimedia	1人
Graduate Diploma of Education (Primary)	1人
Postgraduate Diploma of Education (TESOL)	1人

V. 職員の出勤率 (平成25年度)

1, 教職員数

16名 正規教職員数=13名 非常勤=3名 (1名週5日、2名週4日)

2, 出勤日数

205日

$205日 \times 13名 + 205日 \times 0.73 \times 1名 + 203日 \times 0.47 \times 2名 = 3004日$ (総出勤日数)

3, 病欠等欠勤延べ日数

14日 (体調不良、旅行等)

4, 出勤率

$[(3004 - 14日) \div 3004日] = 0.99533 \quad 99.5\%$

VI. 教員の研修

1, 研修日数

14日

2, 研修実施日 延べ14日

(4/12) (5/6) (6/4) (7/4) (8/7~9) (9/1) (10/23~25)
(11/21・28) (12/20)

3, 研修内容

① 校内研修

・全学年において、新学習指導要領に基づく指導のあり方について単元計画の見直しを図ったり、指導教材の改善を図ったりすることで教育活動の充実につなげた。また、軽度発達障害を抱えた児童への対応方法の研修や全職員がファーストエイド資格取得の講習を受けるなど緊急時における対応ができる体制づくりを行った。

② 校外研修

・全派遣教員で伊藤園オーストラリアを訪問し、オーストラリアでの生産状況を参観したり販売網の説明を聞いたりして、教員としての資質向上に役立てた。
・英語教員は、児童・生徒の書く力(writing)を伸ばすための外部機関の研修にでかけ、指導力向上のための資料やワークシートを得ることができた。その資料やワークシートを授業に活用している。

4, 研修費用

・平成25年度の職員研修費用はA\$711であった。

Ⅶ.児童の出席率

平成25年度

	P	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	合計	授業日数	延べ日数	欠席人数
4月	3	3	10	7	4	6	3	9	5	3	53	11	583	3
5月	3	3	10	7	4	6	3	9	5	3	53	22	1166	13
6月	3	3	10	7	4	6	3	8	4	2	50	19	950	22
7月	3	3	10	7	4	7	4	8	4	2	52	20	1040	19
8月	3	4	10	8	5	11	4	9	4	2	60	15	900	85
9月	3	4	11	8	5	11	5	9	4	2	62	16	992	34
10月	3	4	11	8	5	11	5	9	4	2	62	23	1426	21
11月	3	4	11	8	5	11	5	8	4	2	61	20	1220	46
12月	3	4	11	8	5	11	5	8	4	2	61	14	854	19
1月	6	4	11	5	4	11	7	9	4	2	63	14	882	24
2月	8	4	11	4	4	11	7	9	4	2	64	20	1280	34
3月	9	4	11	4	4	11	7	9	4	2	65	9	585	27
												203	11,878	347

出席率は $1 - (347 \div 11,878) = 0.971$ 97.1%

Ⅷ.ナップランの結果

1. 平成25年度実施の3年、5年、7年、9年生におけるNAPLANテストの平均値(Reading, Writing, Spelling Grammar& Punctuation and Numeracy)について

① 試験について

実施学年……3年生・5年生・7年生・9年生

実施回数……年1回 5月中旬ごろ実施

試験の問題がすべて英語で書かれており、しかもオーストラリアのカリキュラムに基づいたテスト内容であり、日本の文部科学省による学習指導要領に基づいた教育内容とは、相違している。そのため、このテストの結果で児童・生徒の学力を結果づけることはできない。ただ、その結果の分析からある程度の傾向を読み取ることはできる。

② 試験結果について

英語科(現地校では、国語に当たる教科、本校では、ESL・English As A Second Language)

Reading, Writing, Spelling, Grammar & Punctuation についての本校の結果は、現地校の平均よりも下回っている。ただし、英語が母国語でなく第2言語として学習していることを考慮に入れるとレベルはかなり高い。また、日本の基準と比較した場合、ESLの授業とG5(5年生)から行っている英語の授業の成果により、英検の合格率にも裏付けられているとおり、トップクラスの英語指導実績であるといえる。

英語の4種のテスト項目の中の Writing では、下位にいる生徒が数名いた。一方では、Grammar & Punctuation と Spelling の成績が他の項目に比較して平均値に近い位置にいる。これは、おそらくESLの授業と英語の授業が効果的に実践され、成果を上げているからと考えられる。しかし、Writing における課題については、今後の指導計画に反映しなければならないと考えている。

③ 過去数年の平均値の変化について過去数年の平均値の変化については、児童、生徒の入れが激しい本校の特色柄データ分析が難しい。しかし、ここ数年の NAPLAN テストが比較可能な生徒、児童だけを取り上げて変化をみると本校での英語指導の積み重ねとともに、NAPLAN テストのガイダンスをESLの授業で行ったこと、個別指導を受けたことにより成績の向上がみられている。

Ⅸ. 進学先

中学部卒業生の進学先

平成25年度末現在

所在地	種別	学 校 名	～01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
山 形	公	県立酒田商業高等学校	1															1
秋 田	私	聖霊女子短大附属高等学校	1															1
福 島	公	県立福島工業高等学校	1															1
茨 城	国	筑波大学付属高等学校	2															2
	私	土浦日大高等学校						1										1
埼 玉	公	県立春日部高等学校	1															1
	私	武蔵野音楽大学付属高等学校							1									1
	公	県立飯能高等学校	1															1
	公	県立川越高等学校	1															1
	私	西部学園文理高等学校	1															1
	私	早稲田大学本庄高等学校	4															4
	私	慶應義塾志木高等学校	1															1
	私	城北埼玉高等学校	1															1
千 葉	公	県立薬園台高等学校	1											1				2
	私	麗澤高等学校	1												1			2
	私	日出学園高等学校	1															1
	私	暁星国際高等学校	1															1
	私	専修大学松戸高等学校	1															1
東 京	国	東京学芸大学付属高等学校大泉	3															3
	国	東京学芸大学付属高等学校	1															1
	公	都立国際高等学校	2															2
	公	都立竹早高等学校	2															2
	公	都立南多摩高等学校	1															1
	私	早稲田大学高等学院	3	1														4
	私	中央大学付属高等学校		1														1
	私	青山学院高等学校	1															1
	私	中央大学杉並高等学校	1												1			2
	私	早稲田大学実業学校高等部	1															1
	私	桐朋女子学園高等学校	2															2
	私	武蔵野学園高等学校	1															1
	私	昭和第一高等学校	1															1
	私	大成高等学校	1															1
	私	明治学院高等学校	1															1
	私	穎明館高等学校	1															1
	私	明星学園高等学校	1															1
	私	成城高等学校		1														1
	私	日本女子大学附属高等学校			1													1
	私	創価高等学校						1										1
私	山脇学園高等学校										1						1	

《メルボルン現地校》

公私	学 校 名	~01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
私	BRIGHTON GRAMMAR SCHOOL	1													1		2
私	MENTONE GRAMMAR SCHOOL	1															1
私	CAULFIELD GRAMMAR SCHOOL	1															1
私	FIRBANK GRAMMAR SCHOOL	1															1
私	SHELFORD ANGLICAN GIRLS' SCHOOL	1															1
私	ST.CATHERINE'S SCHOOL	1															1
私	WHEELERS HILL SECONDARY COLLEGE	1															1
私	MENTONE GIRLS' GRAMMAR SCHOOL				1												1
私	ST.MICHAELS GRAMMAR SCHOOL				1												1
公	McKINNON SECONDARY COLLEGE	1															1
私	KILVINGTON GIRLS' GRAMMAR SCHOOL	1						1				1					3
公	ELWOOD College												1				1
公	Sandringham COLLEGE											1					1

小学部卒業生の国公立進学先

所在地	公私	学 校 名	~02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	計
東 京	私	日本女子大学附属中学校	1														1
	私	共立女子第二中学校	1														1
	私	攻玉社中学校					1										1
	私	江戸川女子中学校									1						1
愛 知	国	愛知教育大附属名古屋中学校											1				1
岡 山	私	岡山中学校	1														1
京 都	国	京都教育大学附属桃山中学校				1											1
	私	南山国際中学校					1										1
	私	立命館宇治	1												1		2

X.学校評価

1. 保護者アンケート結果 (%)

※ 5 = とてもよい

1= とてもわるい

(保護者回答)

- ①学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。

よく当てはまる どちらとも言えない 全く当てはまらない

5---4---3---2---1

58 34 6 2 0

- ②メル校ならではの特色ある教育活動が行われている。

5---4---3---2---1

70 28 2 0 0

- ③教師は、子どもの能力や努力をよく見極めている。

5---4---3---2---1

58 42 0 0 0

- ③ 教師は、子どもとよく話をし、よく理解している。

5---4---3---2---1

64 36 0 0 0

- ④ 教師は、教育活動の内容等を懇談や通信等でよく伝えている。

5---4---3---2---1

64 34 2 0 0

- ⑤ 学校に行ってみると雰囲気がよく、子どもたちも生き生きしている。

5---4---3---2---1

68 26 6 0 0

- ⑥ 学校全体が、親の意見にもよく耳を傾け、相談しやすい雰囲気である。

5---4---3---2---1

58 28 9 5 0

(児童・生徒回答)

- ⑦ 授業がわかりやすい。

5---4---3---2---1

72 26 0 2 0

- ⑧ 学級が楽しく、友だちとも仲良くやれている。

5---4---3---2---1

75 21 2 2 0

- ⑨ 学校へ行くのが楽しい。

5---4---3---2---1

73 21 4 2 0

生徒の学校への満足度は・・・96%

保護者の学校への満足度は・・・92, 5%

保護者の先生への満足度は・・・99, 3%

XI. 会計報告

Financial Performance and
Position

Operating Statement Summary for the year end 31 December

2013

Expenses	<u>2013 year</u>	<u>2012 year</u>	Revenue	<u>2013 year</u>	<u>2012 year</u>
Wages	329,906	337,707	Tuition fees	391,787	333,124
Other Staff Related Expenses	3,251	3,101	Receipts for Activities	2,325	2,339
Superannuation	32,906	30,844	Enrolment fees	7,300	8,600
Prov for Long Service Leave	7,529	10,947	Subsidy – Japanese Govn't	45,655	50,264
Other Operating Expenses	97,857	100,234	Subsidy – Zaidan	2,668	4,259
Buildings & Grounds	24,494	23,066	Interest	43,501	46,390
Depreciation	73,019	72,035	Donations & Contributions	50	2,750
Total Operating Expenditure	568,962	577,934	Other Income	20	1,982
			Grants from State Govn't	38,493	33,690
			Grants from Aust Govn't	124,069	115,770
			Other Aust Govn't Subsidy	10,701	7,450
			Total Operating Revenue	666,549	606,618
			Capital Receipt from Jap Govn't	6,845	
			Capital Receipt from Aust Govn't	0	5,180
			Total Revenue	673,414	611,798
			Net Profit	104,452	33,864
Current Assets	<u>2013 year</u>	<u>2012 year</u>	Current Liabilities	<u>2013 year</u>	<u>2012 year</u>
Petty Cash/General Account	275,996	219,577	Accrued expenses	24,358	19,549
Term Deposit	1,052,632	943,504	School Bonds	28,000	26,500
Prepayments	20,122	25,531	Provisions for Long Svc Leave	35,781	32,460
Interest receivable	17,139	18,156	Revenue received in advance	0	0
Government Grant Receivable	10,679	3,705		88,139	78,509
Total Current Assets	1,376,568	1,210,473	Non Current Liabilities		
Non-Current Assets			Provisions for Long Svc Leave	13,810	9,602
Building at cost	2,397,747	2,396,311	Total Liabilities	101,949	88,111
Additions	8,375	1,436	Net Assets		
Loss of disposal	0	0	Accumulated surplus	2,852,921	2,819,057
Less Acc depreciation	(1,163,883)	(1,103,366)	Operating surplus	104,452	33,864
	1,242,239	1,294,381	Total Member's Funds	2,957,373	2,852,921
Furniture & fittings at cost	154,590	150,736			
Additions	12,426	3,854			
Less Acc depreciation	(128,244)	(120,845)			
	38,772	33,745			
Educational equipment at cost	310,795	326,879			

Additions	2,954	833		
Loss for disposal	0	0		
Less Acc depreciation	(294,278)	(306,999)		
	<u>19,471</u>	<u>20,713</u>		
Library books at cost	78,616	77,648		
Additions	1,459	968		
Less Acc depreciation	(74,018)	(73,111)		
	<u>6,057</u>	<u>5,505</u>		
Freehold land at cost	<u>376,215</u>	<u>376,215</u>		
Total Non-Current Assets	<u>1,682,754</u>	<u>1,730,559</u>		
Total	<u>3,059,322</u>	<u>2,941,032</u>	Total	<u>3,059,322</u> <u>2,941,032</u>